

聴覚障害を持つLGBT
 (性的少数者)の人たちの
 生き方を、聴覚障害の子
 どもに伝えるDVD「11歳
 の君へ」いろいろなカタチの
 好き」の制作が進んでい
 る。企画したのは聴覚障害
 がある映画監督の今村彩子
 さん(38)。「世の中には様
 々な生き方があっていいん
 だよ」と伝えたい」と話す。
 今村さんは聴覚障害者の
 生き方がテーマの映画をこ
 れまでに26本制作した。今

聴覚障害の君へ 「思うまま生きて」

LGBT紹介DVD制作

回は、障害者にも多様な性
 や恋愛の形があることを紹
 介したいと、思春期の子ど
 もに向けて作った。

インタビューに答える形
 でDVDに出演するのは、
 聴覚障害を持ち、生まれつ
 きの性別への違和感から女
 性から男性になった人や同
 性愛者ら5組。
 登場する一人で、東京都

東村山市の手話講師、菊川
 れんさん(42)は、物心つい
 た頃から男性という自分の
 性に違和感があった。24歳
 の時、聴覚障害者で、男性

から女性になったアメリカ
 人に出会い、自分の気持ち
 に正直に、女性として生き
 ることを決意した。現在、
 同じ聴覚障害者の喜久さん
 (63)と生活している。

LGBT レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ
 (男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛
 者)、トランスジェンダー(心と体の性が一致しな
 い人)の英語の頭文字を並べた総称。電通の調査で
 は日本人の約7%が当事者とされる。性別に違和感
 がある場合、性別適合手術、ホルモン治療などが可
 能だが、治療を受けずに生活する人も多い。

れんさんは「必ず目標と
 なる人がいる。自分の思っ
 ままの生き方をすればい
 い」と思いを伝える。
 DVD制作費は、インタ
 ーネット上で資金を募る
 「クラウドファンディング」
 を活用。資金が集まれば、発
 売は11月、価格は1枚30
 00円(税別)を予定してい
 る。問い合わせは、Stud
 io AYA(スタジオア
 ヤ)へメール(studio_aya
 _ai@yahoo.co.jp)へ。

2017. 8. 15

読売新聞夕刊